平成21年度 福岡市観光客動態調査報告書（概要版）

FUKUOKA

みんなが好きになる!

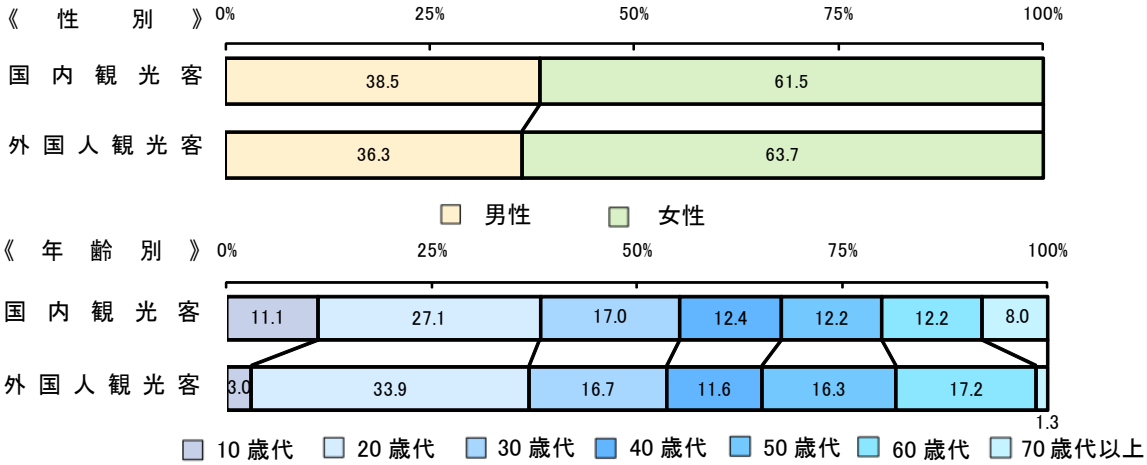
FANTASTIC FUKUOKA!

平成22年3月

福　岡　市

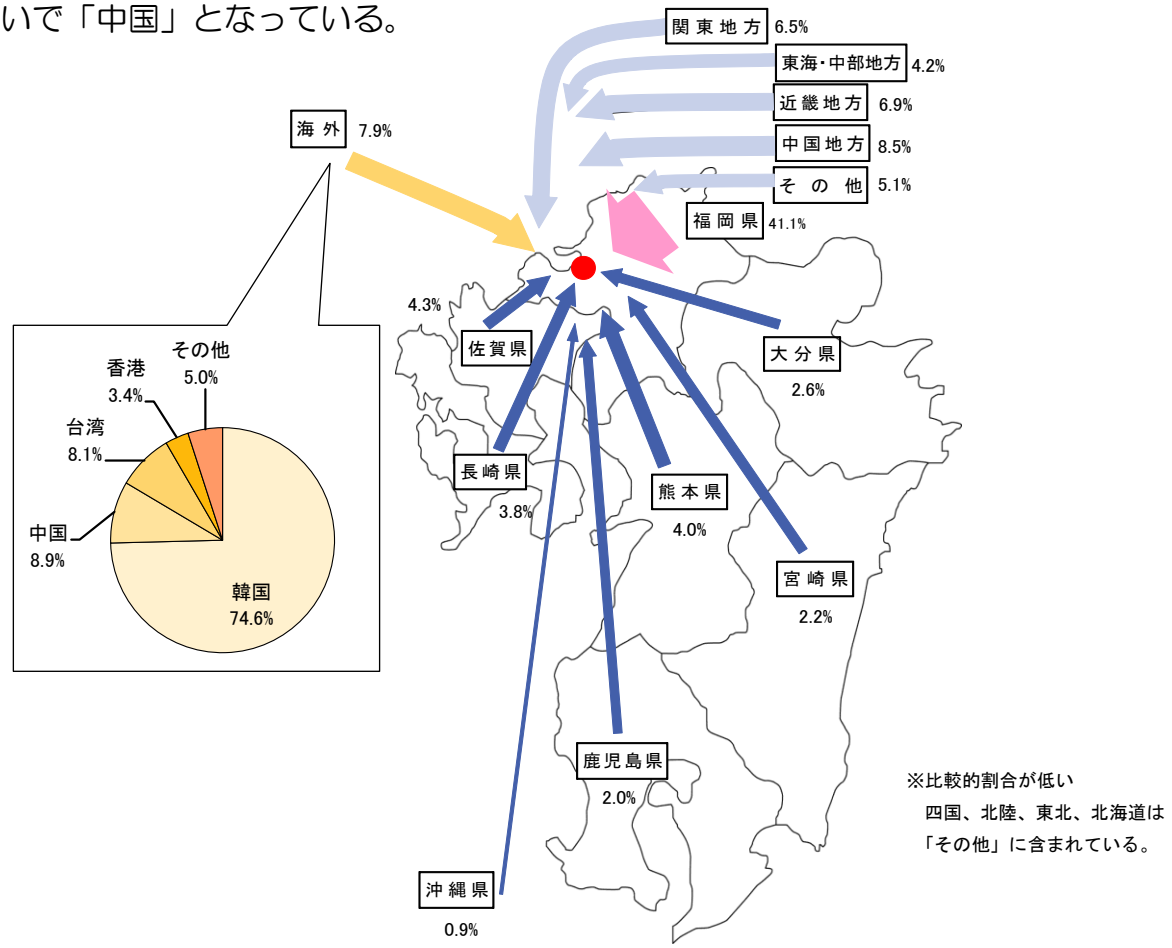
性別・年齢別

●国内観光客（国内からの来福観光客）、外国人観光客（海外からの来福観光客）ともに、性別では「女性」が多く、年齢別では「20 歳代」次いで「60 歳代」以上の割合が高い。



居住地域

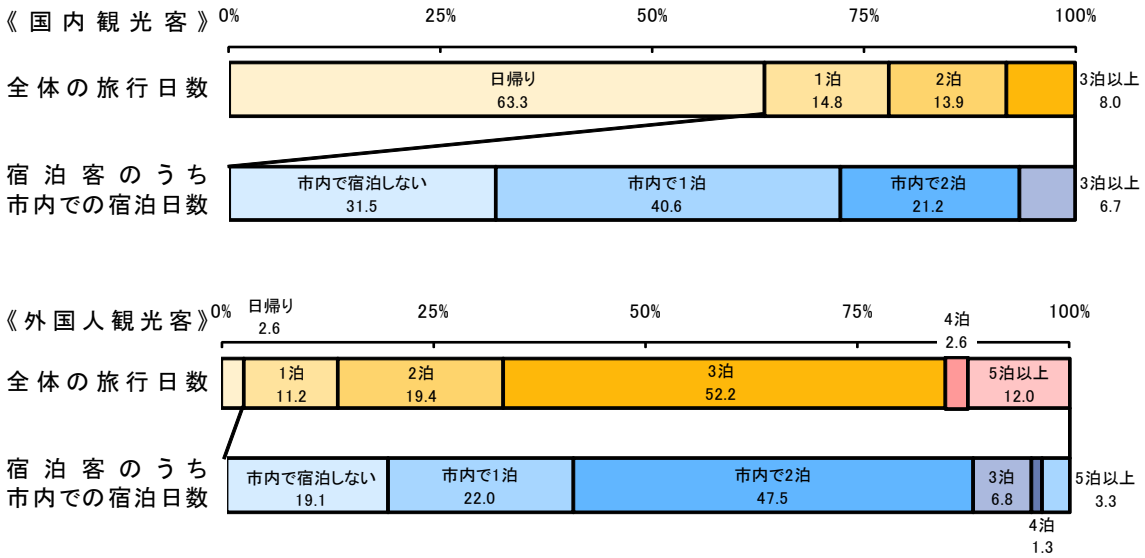
●「福岡県」が４割、福岡県外の九州からが２割。海外からは「韓国」が７割、次いで「中国」となっている。



旅行日数・市内での宿泊日数

●全体の旅行日数は、国内観光客では「日帰り」、外国人観光客では「３泊」（他都市泊を含む）が最も高い。

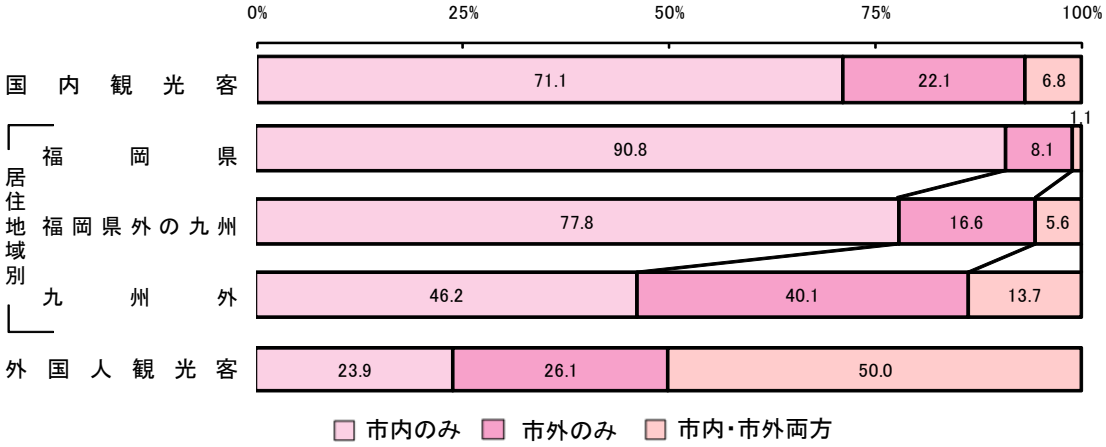
宿泊客のうち、市内での宿泊日数は、国内観光客では「１泊」、外国人観光客では「２泊」が最も高い。



立ち寄り状況（市内・市外）

●居住地域が遠方になるほど、市外の観光地にも立ち寄る割合が高い。

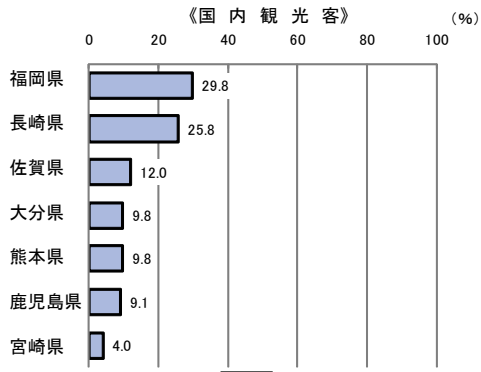
国内観光客は、「福岡県」の約８割が「市内のみ」であるが、居住地域が遠方になるほど市外にも立ち寄る割合が高く、「九州外」は約５割、外国人観光客では７割を超える。

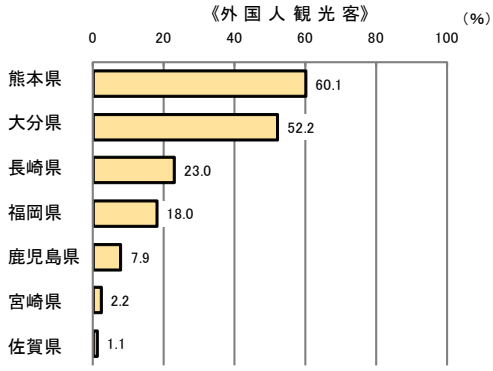


本市以外での立ち寄り先

●国内観光客は「福岡県」、「長崎県」、「佐賀県」、外国人観光客は「熊本県」、「大分県」、「長崎県」の順に高い。

具体的な観光地では、国内観光客は「長崎市内／周辺」次いで「太宰府」、外国人観光客は「阿蘇」、「別府」の順となっている





観光地ランキング〔上位5位〕

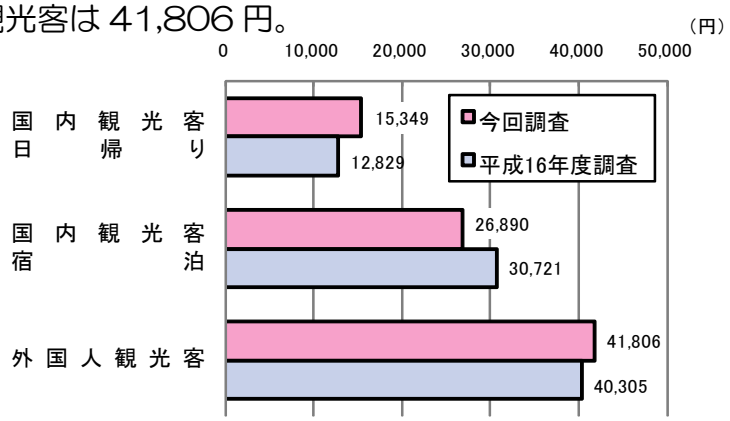
1位　長崎市内/周辺(20.0%)
2位　太宰府(17.1%)
3位　佐賀市内/周辺(12.0%)
4位　阿蘇(9.1%)
5位　別府(7.3%)

観光地ランキング〔上位5位〕

1位　阿蘇(48.9%)
2位　別府(48.3%)
3位　長崎市内(18.5%)
4位　太宰府(16.3%)
5位　熊本市内/周辺(10.7%)

１人当たりの観光消費額

●国内観光客の「日帰り」は 15,349 円、「宿泊」は 26,890 円。外国人観光客は 41,806 円。



詳細をみると、国内観光客は「女性」が、外国人観光客は「男性」の方が高くなっている。年齢別では、国内観光客は「日帰り」では「60 歳代」、「宿泊」では「50 歳代」が、外国人観光客は「30 歳代」が最も高い。

性別、年齢別にみた1人当たりの観光消費額の詳細　(円)

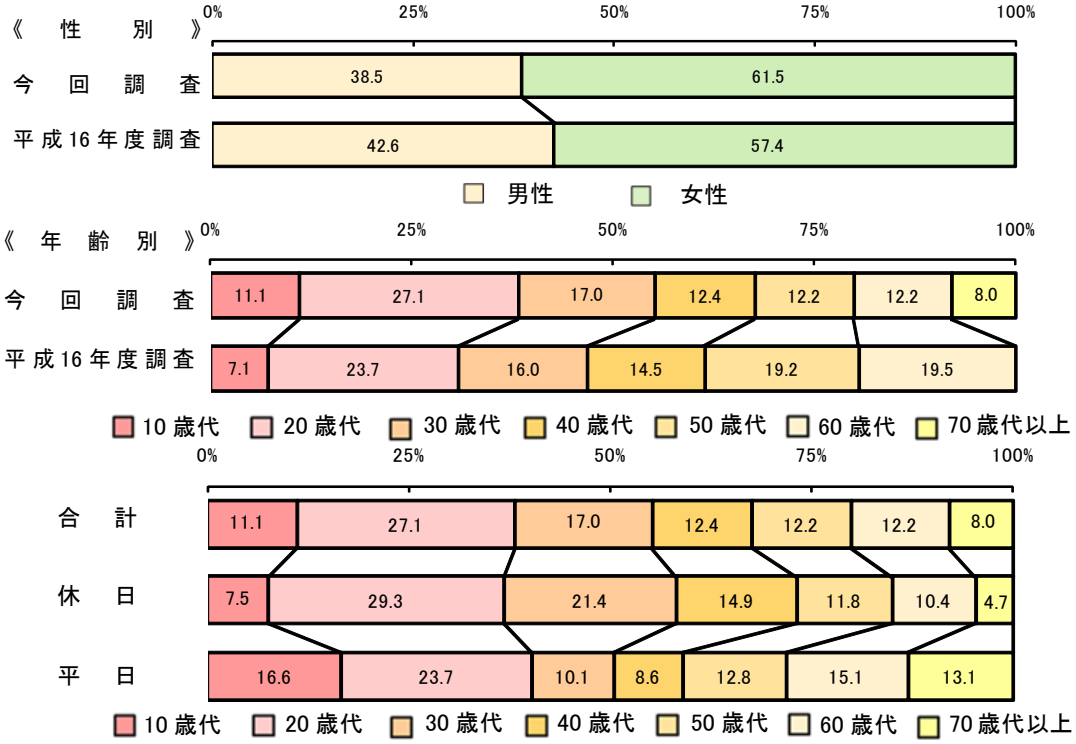
	性別		年齢別						
	男性	女性	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
国内観光客 日帰り	12,473	16,803	11,586	15,604	15,298	16,883	16,801	17,931	15,305
国内観光客 宿泊	25,837	28,215	20,905	26,726	26,826	26,772	30,331	26,958	24,460
外国人観光客	44,957	41,999	16,440	45,492	49,270	35,406	45,673	31,634	32,456

国内観光客

性別、年齢別にみる変化

●性別では「女性」、年齢別では「10 歳代」と「20 歳代」の割合が3～4ポイント増加している。

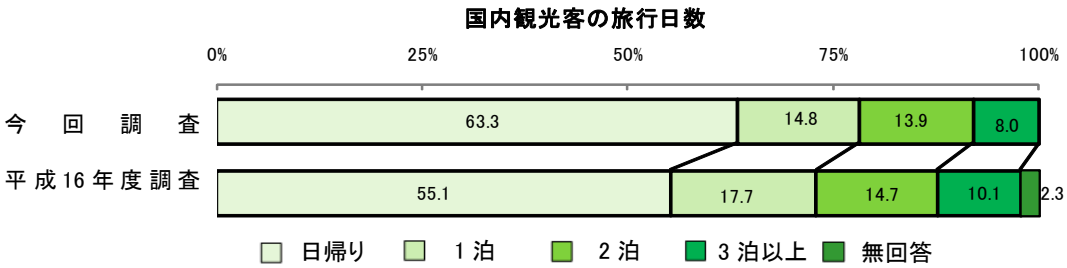
前回調査と比較すると、性別では「女性」が 4.1 ポイント、年齢別では「10 歳代」が 4.0 ポイント、「20 歳代」が3.4ポイント増加している。また、休日と平日を比べると、平日は「10 歳代」と「60 歳代」以上がそれぞれ高くなっている。



旅行日数

●「日帰り」が増加し、宿泊日数が短くなる傾向。

前回調査と比較すると、「日帰り」が増加し、「2泊」、「3泊以上」が減少してきている。



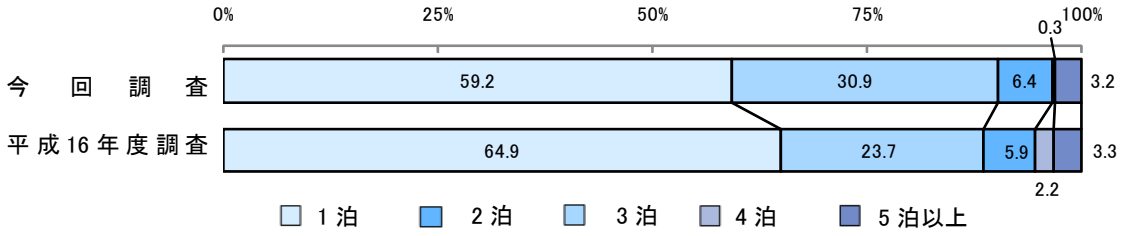
市内での宿泊

●「１泊」が最も高いが、「２泊」「３泊」の長期滞在者の割合が増加。

市内での宿泊客の宿泊日数をみると、前回調査と比較して「２泊」、「３泊」が増加しており、長期滞在者の割合が増えている。

九州各県の主要都市から他都市への時間距離は着実に短くなってきており、さらに平成 23 年春の九州新幹線鹿児島ルートの全線開通により、「九州１日観光圏」が拡大する。九州内が連携して回遊性の向上を図るなど、今後、滞在時間が長くなるような取り組みが求められる。

市内での宿泊客の宿泊日数

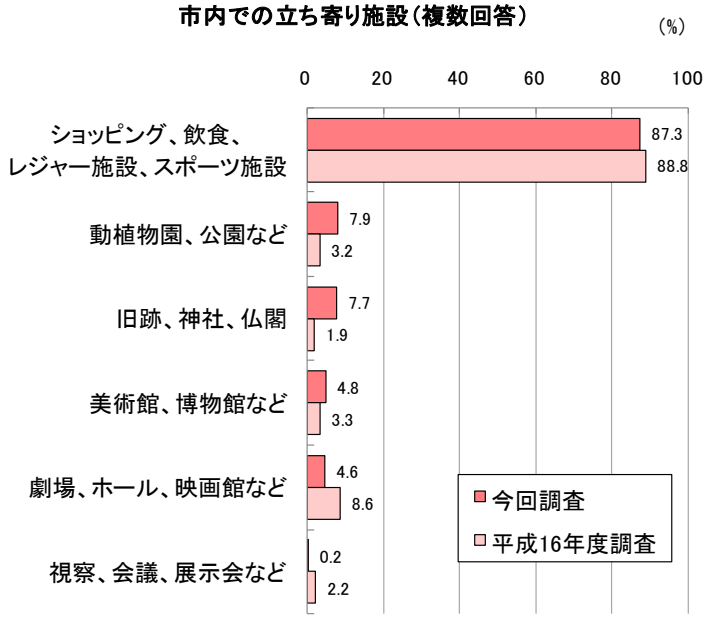


市内での立ち寄り施設

●「ショッピング、飲食、レジャー施設、スポーツ施設」が約９割。前回調査より「動植物園、公園など」、「旧跡、神社、仏閣」が増加。

市内での立ち寄り施設は、「ショッピング、飲食、レジャー施設、スポーツ施設」の割合が 87.3%と最も高い。前回調査と同様、圧倒的に高い割合を占めているものの、「動植物園、公園など」や「旧跡、神社、仏閣」の割合が増えており、立ち寄り先の多様化が徐々に進んでいる傾向も一部にみられる。

市内での立ち寄り施設（複数回答）



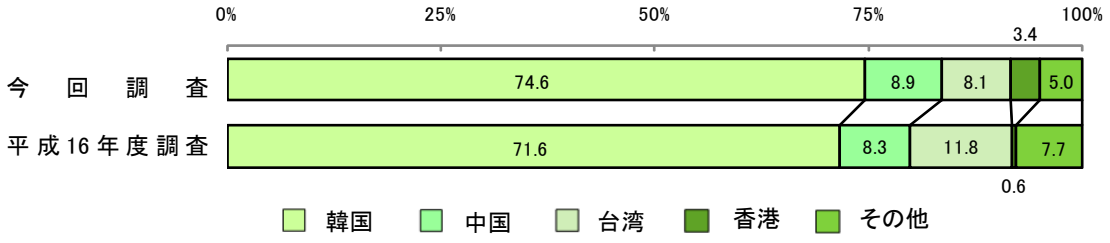
注）その他の目的を除外した場合

外国人観光客

居住国・地域

●「韓国」が７割以上、「中国」「香港」が増加。

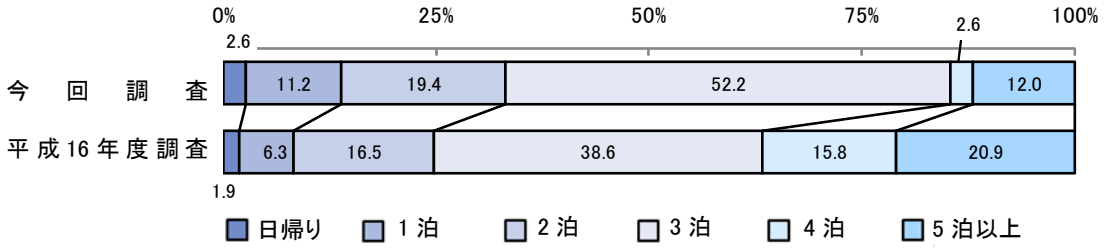
居住地・地域では、「韓国」が最も高く、次いで「中国」、「台湾」の順となっている。前回調査と比較すると、「韓国」「中国」「香港」の割合が増加し、「台湾」の割合が減少している。



旅行日数

●「３泊」が増加、「４泊」以上は減少。

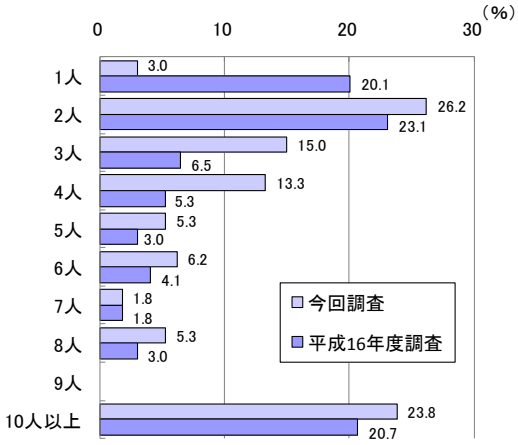
旅行日数は「３泊」の割合が最も高く、また大きく増加しているが、「４泊」以上は減少している。交通利便性の向上などにより旅行日数が短くなっていると思われる。



旅行人数

●「３～４人」が大きく増加。

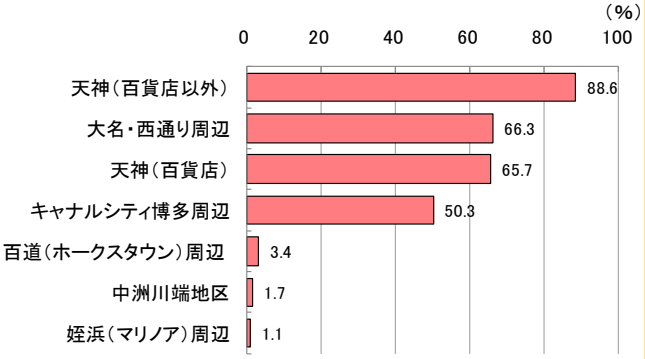
旅行人数は「２～４人」と「10人以上」の割合が高い。特に「３～４人」が増加しており、多様化の傾向がみられる。



市内での立ち寄り場所

●天神周辺地区の割合が高い。

「天神(百貨店以外)」が最も高く、次いで「大名・西通り周辺」、「天神(百貨店)」と天神周辺地区に立ち寄る割合が高い。



※天神(百貨店)=天神岩田屋、博多大丸、福岡三越
天神(百貨店以外)=天神地下街、福岡パルコ、天神コア・ビブレ、ソラリアプラザ、イムズほか

調査の概要

○調査目的

本調査は、福岡市を訪れた観光客についてその実態を調査し、交通機関の利用状況をはじめ、観光レクリエーションの目的、市内及び市外への立ち寄り状況、旅行日数、観光消費額等を明らかにして、今後の本市における観光諸施策を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的とするものである。

○調査方法

市内の交通機関及び、観光施設で調査員の直接面接聴取法による調査を行った。

○調査実施日

①平成 22 年３月 18 日（木曜日）
②平成 22 年３月 21 日（日曜日）
いずれも午前 10 時から午後５時まで実施。
※ただし博多港（国内航路）のみ、休日は始発便の関係で午前９時から調査を開始した。

○調査項目

来福客の性別、年齢、利用交通機関、居住地域、旅行目的、旅行日数、立ち寄り先、旅行費用など。

○調査地点・標本数

標本数の総計 1,247
(1)交通機関（７地点） ＪＲ博多駅、西鉄福岡（天神）駅、地下鉄天神駅、福岡空港（国内線）、福岡空港（国際線）、博多港（国内航路）、博多港（国際航路）
(2)観光施設（10 地点） ホークスタウン、キャナルシティ博多、ベイサイドプレイス博多、マリンワールド海の中道、博多座、福岡観光会館はかた、福岡タワー、能古島アイランドパーク、博多町家ふるさと館、大濠公園内日本庭園

※上記の 10 施設は、国の観光入込客統計調査を試行することを踏まえ、市内の観光施設のうち、目的・性質・規模・位置などを、総合的に考慮して独自に選定した。

○用語の定義

①来福客

本調査における来福客とは、下記の理由で福岡市を来訪している人をいう。

a.福岡市外に居住している人
b.下記の目的で旅行している人
ア 観光・娯楽（名所・旧跡めぐり、行楽、ショッピング、飲食、映画、スポーツ観戦、コンサート、講演会、遊園地、ヘルスセンターなど）
イ 仕事（社用、公用、商用、会議、研修など）
ウ 家事（帰省、医療、冠婚葬祭、日常的買い物など）
エ 仕事兼観光・娯楽
オ 家事兼観光・娯楽

②来福観光客

①の来福客のうち、上記のア、エ、オの目的で福岡市を旅行している人をいう。

③国内観光客

②の来福観光者のうち、国内に居住する人をいう。

④外国人観光客

②の来福観光客のうち、日本以外の国に居住する人をいう。

⑤宿泊客

本調査における旅行で宿泊施設に１泊以上宿泊する人をいう。

⑥市内・市外の立ち寄り状況

②の来福観光客の市内・市外の立ち寄り状況を下記のとおり定義する。

a.市内のみ　福岡市のみを旅行している人
b.市外のみ　福岡市を交通アクセスの結節点としてのみ利用する人
c.市内・市外両方　福岡市及び他都市を旅行している人

発　行　福岡市経済振興局　集客交流部　集客企画課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目８番１号
TEL 092-711-4353　FAX 092-762-4442